

---

## 「脱上皮化反転口蓋粘膜を用いた眼瞼後葉再建に関する後方視的観察研究」

### に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2024年4月1日から2026年2月28日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、眼瞼悪性腫瘍もしくは眼瞼悪性腫瘍疑いと診断され、腫瘍切除および脱上皮化反転口蓋粘膜にて眼瞼後葉再建を行った患者さんを対象としております。

##### 2. 研究の目的

口蓋粘膜を用いた眼瞼再建はメジャーな選択肢の一つですが、口蓋粘膜の粘膜上皮層を除去し、骨膜側を結膜側に向けて再建するというより眼球に愛護的な工夫を行い、その有用性を検討することを目的とします。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

##### 4. 利用または提供の開始予定日

2026年4月15日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

年齢、性別、手術所見、病理検査所見、術前・術中・術後の外眼部・前眼部写真

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である河野暉が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

##### 2. 試料・情報の取得方法

脱上皮化反転口蓋粘膜にて眼瞼後葉再建を行った患者さんの診療記録(電子カルテ)を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野 暉(研究責任者)

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 大西 文夫

埼玉医科大学総合医療センター 眼科 小幡 博人

埼玉医科大学総合医療センター 病理部 東 守洋

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### 5. 試料・情報の二次利用

本研究で収集した試料・情報を本研究に関連した将来計画される研究に利用（二次利用）する可能性があります。二次利用する場合は二次利用に関する同意を得た研究対象者の試料・情報のみを二次利用できるものとします。

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野暉

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3639(土日祝日を除く 9:00~17:00)

○研究課題名：脱上皮化反転口蓋粘膜を用いた眼瞼後葉再建に関する後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野 暉